

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	胃癌 XP(Capecitabine+CDDP)療法(S,hydration)	臨床区分	<input checked="" type="checkbox"/> 日常診療 <input type="checkbox"/> 単施設自主研究 <input type="checkbox"/> 他施設自主研究 <input type="checkbox"/> 市販後臨床研究 <input type="checkbox"/> 治験	抗癌剤適応分類	<input type="checkbox"/> 進行・再発化学療法 <input type="checkbox"/> 術後化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法 <input type="checkbox"/> 局所療法 <input type="checkbox"/> その他	登録日	2012年8月4日 (2023/2/3改訂)
疾患名	胃癌					1クール期間	21日
診療科名	外科					実施回数	/回
登録医師名	常光 洋輔						

Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート	投与時間	投与日														注意コメント
							day1	day2	day3	-	-	-	day14	-	-	-					
1	カベシタピン錠300mg		錠	経口			●	→	→	→	→	→	→	休						備考欄参照	
2	生理食塩液	100	mL	点滴静注	メイン		●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	血管確保用 ※開始から終了までECGモニターを装着すること	
3	ソルテム3A輸液 静注用守クオネソール	500 0.5	mL 管	点滴静注	メイン	60min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
4	アプレヒタントカプセル125mg	1	Cap	経口			●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	抗がん剤投与1時間~1時間30分前に内服 (内服不可の場合は、ホスアプレヒタン 2日目以降、午前中内服)	
5	アプレヒタントカプセル80mg	1	Cap	経口			-	●	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
6	ソルアセットD輸液 デキザンD注射液 6.6mg	500 1.5	mL 瓶	点滴静注	メイン	60min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
7	ソルテム3A輸液 デキザンD注射液 6.6mg	500 1	mL 瓶	点滴静注	メイン	60min	-	●	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
8	生理食塩液 パロノセトロン静注0.75mg	20 1	mL 瓶	静注	側管	緩徐に	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
9	20%マンニトールS注射液	300	mL	点滴静注	メイン	30min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
10	生理食塩液 シスプラチン点滴静注液	250 80	mL mg/m ²	点滴静注	側管	120min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1) カベシタピンが処方されているか確認すること 2) 全量500mLに調製	
11	ソルテム3A輸液	500	mL	点滴静注	メイン	60min	●	●	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
12	ソルアセットD輸液	500	mL	点滴静注	メイン	60min	●	●	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
13																					
14																					

備考欄
カベシタピン 2×(14)MA 内服処方
1.36m2未満 1200mg/回、1.36m2以上1.66m2未満 1500mg/回、
1.66m2以上1.96m2未満 1800mg/回 1.96m2以上 2100mg/回

文献

減量・中止基準
【腎機能障害の投与量変更例】
Capecitabine : Ccrが30mL/min以下は投与中止
CDDP :
Ccr(mL/min) ≥60→80mg/m², Ccr : 51~59→60mg/m², Ccr : 41~50→40mg/m², Ccr ≤40→投与中止

【減量・中止基準】
■血液毒性 : Grade3以上なら休業し、Grade1以下になれば下記基準で再開
・好中球減少Grade4、発熱性好中球減少症Grade3→Capecitabine : 1段階減量、CDDP : 60mg/m²
・血小板減少 Grade4→Capecitabine : 2段階減量、CDDP : 40mg/m²
・発熱性好中球減少症Grade4→Capecitabine : 中止or2段階減量、CDDP : 中止or40mg/m²

なお好中球数1000~1500/mm³、血小板数100000/mm³以上であれば休業せずにCapecitabine (減量段階1)、CDDP (60mg/m²) で投与可能だが、規定の投与量で継続する場合は好中球数1500/mm³以上に回復するまで治療を延期する。

【Capecitabineの減量時の投与量 (1回量1000mg/m²で開始の場合)】
BSA<1.41m²→1段階減量 : 900mg/回、2段階減量 : 600mg/回
1.41m²≤BSA<1.51m²→1段階減量 : 1200mg/回、2段階減量 : 600mg/回
1.51m²≤BSA<1.81m²→1段階減量 : 1200mg/回、2段階減量 : 900mg/回
1.81m²≤BSA<2.11m²→1段階減量 : 1500mg/回、2段階減量 : 900mg/回
2.11m²≤BSA→1段階減量 : 1500mg/回、2段階減量 : 1200mg/回